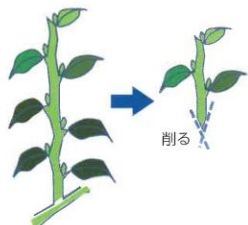


## 苗木の作り方

### さし木

【さし穂の採種】  
(常緑広葉樹)



【さし穂づくり】

削る

葉を半分切り落とす

【さし穂の完成】

【さし床】

10~15cm

10~15cm



- さし木の時期は、3月~4月上旬、6月中旬~7月上旬、9月です。
- さし穂の形態は、当年生新梢15cmを用い、上部に残す葉は、3~4枚葉で、半切りした状態とします。基部は切り返します。
- さし箱の用土は鹿沼土、赤土、川砂を用い水を充分あたえます。さし床は、3ヶ月間覆いをします。

### 実生

光の有無及び覆土…好光性が嫌光性及び、種の大きさなども考慮し、覆土の厚みを調整する。



#### ●サカキ・ヒサカキ

- 熟果期（10~11月）に果実を採集し、果肉を取り除き、水洗いし陰干します。
- 種子は乾燥を嫌うので直ちにとりまきするか、低温湿層貯蔵または土中埋蔵をします。
- 播種

取りまきは11月ごろに、春まきは3月頃に播きつけます。播きつけ量は㎡当たり5g（10cc、1000粒）をばらまきます。播種後は乾燥を防ぐための日覆（遮光率50%）と冬期の防寒に注意します。仕立て本数は㎡当たり250本です。幼苗の生長が遅いので、1年据え置く必要があります。

#### ●ユズリハ

- 熟果期（11~12月）に果実を採集し、果肉を取り除き、水洗後砂中に埋蔵しておくか、3~5℃の低温湿層処理を4ヵ月間行った後播種すると、発芽が早くなります。
- 播種床は元肥（乾燥鶏糞200g/㎡・化成肥料100g/㎡）を施し、耕うん後、90cm幅の上げ床を作り、表面を平らにして㎡当たり10粒をバラマキし、覆土は2cm程度で、その上に薄く敷き藁をします。発芽後2年間は床替えの必要はありません。稚苗は日陰地でもよく育ちますが、やはり日当りのよい適湿地のほうが伸長・肥大ともよくなります。1~2年生は特に寒さと乾燥に弱く、寒い地方では霜除けを行う必要がありますが、その後は耐寒力が付いてきます。

## シキミ、ヒイラギ

あなたも  
「葉っぱ」を  
つけた  
ビジネスに  
取り組みませんか？



「葉っぱ」をつかった  
ビジネス

季節の葉や花を、  
栽培・出荷・販売する農林業ビジネスのこと。



### 問い合わせ先

- 福井農林総合事務所：福井市松本3丁目16-10 TEL (0776) 21-8213
- 坂井農林総合事務所：坂井市三国町水居17-45 TEL (0776) 81-3223
- 奥越農林総合事務所：大野市友江11-10 TEL (0779) 65-1492
- 丹南農林総合事務所：越前市上太田町41-5 TEL (0778) 23-4961
- 嶺南振興局二州農林部：敦賀市中央町1丁目7-42 TEL (0770) 22-0291
- 嶺南振興局林業水産部：小浜市遠敷1丁目101 TEL (0770) 56-2218
- 総合グリーンセンター：坂井市丸岡町楽間15 TEL (0776) 43-6503

## シキミ

・ 植栽適地  
日当たりがよく、水はけのよい土地が適します。  
pH5.5～6.0の弱酸性土壌が良いとされています。

・ 植え付け  
林内栽培は、造林用の地拵えを行い、農用地の場合  
は、うね立てをします。

植え付けは3～4月、株間・条間0.5～1.0mの千鳥  
植えとし、管理しやすい密度とします。植え付けの際  
には植穴の底に化成肥料を50g入れて土をかけ、その  
上に苗木を植え付けます。その際、深植えにならない  
ように特に注意します。植え付けた苗木の周囲には乾  
燥防止のため、落ち葉や草を掻き寄せておきます。

### ・ 施肥

植栽地の土地条件や葉の色・樹勢により、種類や量は  
異なります。標準的に毎年3～4月頃に1a当たり、化成  
肥料(N20:P12:K12)を40kg施用します。

### ・ 整枝(仕立て方)

3～4年目に幹を高さ50～60cm(直径10cm)で切断  
して芯止めし、3～4本の新芽を立ち上がらせてます。  
植栽後5年後には枝数が増え収穫できます。

さらにその5年後、3～4本のうち1本を切断して新芽を  
1～2本出します。これを3～4年ごとに繰り返し、1本ずつ更新します。

### ・ 病害虫防除

カイガラムシとその排泄物からすす病が発生しますので、薬剤(アグロスリン乳剤2000倍)を散布  
します。また、病害虫の発生時期には、スミチオン乳剤(1,000倍液)を散布するとともに、被害に  
あった枝葉や下垂枝などを剪定・除去し、日当たり・風通しをよくします。

### ・ 収穫・出荷

葉が小さく濃緑色(厚葉)で病害虫が無いもの。  
軸が通直で節間が短く枝や葉が多いもの。  
規格は出荷先によって異なるため、収穫する枝の大きさは、  
長さ45～110cmぐらいで、基準に合わせて調整  
しましょう。



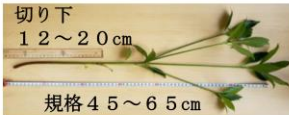
シキミの枝葉



シキミの果実



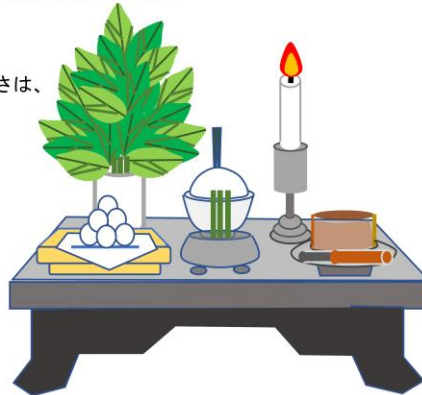
シキミの枝葉  
を5～6本束ね  
て出荷する。



切り下  
12～20cm

規格45～65cm

シキミの枝葉



### ・ 栽培カレンダー

植え付け 3～4月  
剪定 除草・防除を含めて、通年実施(ほぼ年間を通じて収出荷)  
肥料 3～4月、7月  
増殖 さし木は6～7月の梅雨挿し、または、3月中旬から4月上旬の春挿し

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
植付												
剪定	通年収穫(除草、防除)											
肥料												
増殖			播種・さし木				さし木					

## ヒイラギ

### ・ 植栽適地

日当たりがよく、水はけのよい腐植質に富んだ豊かな  
土地を好みます。林内栽培は、造林用の地拵えを行い、  
農用地の場合は、うね立てをします。

### ・ 植え付け

冬の寒を嫌う為、植える場合はそのような場所を避けて、  
5月、8月下旬、10月上旬の暖かい季節に植え付けま  
す。株間・条間0.5～1.0mの千鳥植えとし、管理しやす  
い密度とします。植え付けの際にはたつぷりと水を与え  
ます。植え付けた苗木の周囲には乾燥防止のため、落ち  
葉や草を掻き寄せておきます。

### ・ 施肥

植栽地の土地条件や葉の色・樹勢により、種類や量は  
異なります。標準的に毎年2月と8月下旬に、油粕に  
骨粉を少量混ぜたものを根元に2握り程度施用します。

### ・ 整枝(仕立て方)

3～4年目に幹を高さ50～60cm(直径10cm)で切断  
して芯止めし、3～4本の新芽を立ち上がらせてます。  
し損ねた枝でも太くなった枝をカットして新しい枝を  
作って行く事が出来ます。

### ・ 病害虫防除

カイガラムシとその排泄物からすす病が発生しますので、  
薬剤(アグロスリン乳剤2000倍)を散布します。また、病害虫の発生時期には、スミチオン乳剤  
(1,000倍液)を散布するとともに、被害にあった枝葉や下垂枝などを剪定・除去し、日当たり・  
風通しをよくします。

### ・ 収穫・出荷

葉の大きさ 約3cm～5cm、枝の長さ 約15cm～30cm、  
1本の枝に葉が5～15枚ほど付いている  
濃緑色(厚葉)で病害虫が無いもの。規格は出荷先によ  
って異なるため、基準に合わせて調整  
しましょう。

ヒイラギの枝葉



### ・ 栽培カレンダー

植え付け 5月、8月下旬、10月上旬の暖かい季節  
剪定 収穫(12月～2月)、剪定(3月～4月上旬)  
肥料 2月と8月下旬  
増殖 播種・さし木は6～7月

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
植付												
剪定	収穫・剪定(3月～4月)											収穫
肥料												
増殖						播種・さし木						



ものさし  
L=50cm



ヒイラギの枝葉



クリスマスのリース  
や2月3日の節分の  
日の、魔除けとして、  
袴鯛(ヒイラギイワ  
シ)という飾り物